

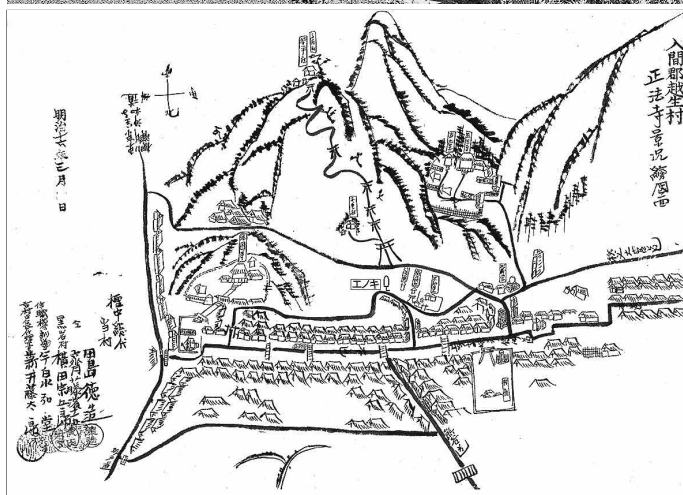


令和8年6月17日

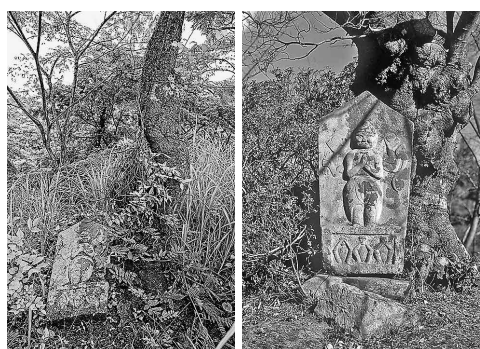


榎の古木 (シロウチの榎)

令和7年5月8日



「正法寺景況絵図面：明治16年（1883）」に（EノキQ）を加筆



山入の庚申塔（左：現況、右：平成11年）

「榎の古木」
この榎の古木は、幹の半分をえぐられたように失われている。それでも元気に枝を伸ばしている生命力には心を打

越生浪漫 No.210

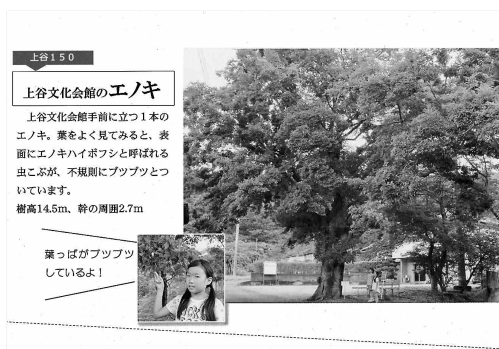
「シロウチの榎」倒伏

たれる。大木に育ち、夏に生い茂る葉が緑陰をもたらす榎は、江戸時代には、しばしば主要な街道の一里塚に植えられた。この榎も、境界や目印などの、何らかの標識にと植えられ、守られてきたのかも知れないが、確証はない。

また、この榎は「シロウチの榎」とも呼ばれていたという。この西の絹会館（越生織物市場跡）を中心とする一画は、中世武士団越生氏の館推定地である。大正二年（一九一三年）の『人間郡誌』に「：越生町の附近に於て、館地を求めんとする、恐らく此地を外にして又適せるものあらざるべし。越生氏の館跡到底此処を出でじ」とある。「シロウチ」城内」の記憶が伝えられたのであろうか。

平成二十七年三月
越生町教育委員会
（※現地解説板「文」故金子和弘氏「前町文化財保護委員長」「不動横丁」奥の、この榎が、6月16日19時35分の震度4の地震が引き金になったのでしよう。遂に力尽きて倒れてしまいました。

明治時代の絵地図に照らすと、榎は、上町公会堂のところにあった不動堂を経て今の中央公民館前の「秩父大宮道」に通じる道沿いに位置しています。百年前にはすでに老木樹だったという、ランドマークが失われてしまいました。榎は受難続きで、上谷文化会館にそびえていた大木も倒伏し、平成30年に町の景観樹



「広報おごせ」平成29年9月号より



越生小学校

6月5日（金）に、4年生が「ふるさと教育」の一環で森林体験学習を行いました。越生町にお住まいの地域の方々にご協力いただき、皮むき体験をしました。皮むきは間伐する木を枯らすための作業で、こどもたちは初めての体験に真剣な眼差しで取り組んでいました。

梅園小学校

6月12日（金）に、1～3年生が梅干しづくりに取り組みました。今年度も保護者の方にお手伝いをしていただきながら、こどもたちは梅のへたを竹串で取り除いたあと、樽に塩と梅を交互に入れて漬け込み、最後に「おいしくなあれ～」とおまじないをかけました。梅雨が明けたら干します。できあがりを楽しみます！



越生中学校

6月18日（木）・19日（金）に、立志発表会を行いました。3年生が将来の夢ややりたい自分を誠実に語り、参観した1・2年生はその堂々とした姿を、憧れの眼差しで見つめていました。多くの人に感動を届け、生徒の成長を感じられる素晴らしい発表会となりました。

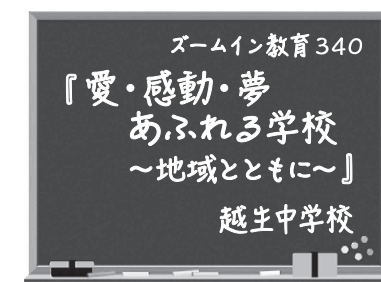


おごせっ子広場
町内の小中学校や町の行事等に参加するこどもたちを写真で紹介するコーナーです。

『愛・感動・夢あふれる学校』
越生中学校は、今年度で開校八〇周年を迎えました。学校教育目標「自立の力を育む」のもと、「愛・感動・夢あふれる学校」地域とともに」を目指しています。



3【家庭・地域との連携】
学校だより等の発行やホームページの更新を通して、学校からの情報発信を積極的に、家庭・地域に開かれた学校づくりを進めます。また、地域の行事やボランティア活動にも参加し、地域に貢献できる生徒を育成します。



2【安心・安全できれいな学校】
交通安全への意識を高め、自分の命は自分で守ることができ、行動力を身に付けさせます。また、情報モラル教育に力を入

